

岩手県保健医療計画（2024-2029）地域編の取組等について

1 趣旨

岩手県保健医療計画（2024～2029）第7章「計画の推進と評価」に基づき、各圏域における重点的取組事項等について、毎年度保健医療圏ごとに関係機関・団体の取組状況を取りまとめ、各圏域地域連携会議等で情報を共有し、評価・検証を行っていくものです。

2 胆江圏域における重点的な取組事項

- (1) 非感染性疾患、加齢に伴う疾患対策について
- (2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）について
- (3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策について

3 取組状況の照会先

- (1) 医療関係 13 団体（3 師会、病院、県看護協会奥州地区支部）
- (2) 福祉・介護関係 3 団体（市町社協、介護支援専門員連絡協議会）
- (3) 市町関係 3 機関（市町、保健所）

4 取組の評価

(1) 事業数の推移

胆江圏域における重点的な取組事項	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	増減
(1) 非感染症疾患、加齢に伴う疾患対策	142	150	8
(2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）	167	174	7
(3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策	89	90	1
合計	398	414	16

(2) 評価方法

各機関・団体から回答いただいた「取組み事業数」を基準として、「課題への対応のために想定される取組」（取組分野）に分類して評価しました。

5 取組状況と評価

(1) 非感染性疾患、加齢に伴う疾患対策について

① 取組分野と取組状況（事業数）

大項目 (重点的取組)	小項目 (取組分野)	No	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	増減
(1) 非感染症疾患、加齢に伴う疾患対策					
	市町の地域支援事業への取組支援を通じ、高齢者の健康寿命の伸長を図る	1	30	33	3
	循環器病対策	2~5	47	46	▲1
	糖尿病対策	6~8	27	28	1
	がん対策	9	21	23	2
	食からのフレイル対策	10	17	20	3
	小計		142	150	8

※各団体の取組状況は、資料1－2のとおり

② 総合評価（取組事業の概要）

ア 「市町の地域支援事業への取組支援を通じ、高齢者の健康寿命の伸長」について

- ・ 医療、福祉・介護、行政機関等、各団体の会議の開催や相談窓口の設置を通じて、連携強化を図っています。また、令和7年度の新規取組として、薬剤師会が医薬品情報・在庫情報等の共有、多職種等からの相談窓口の設置を予定しています。

イ 「循環器病対策、糖尿病対策及びがん対策」について

- ・ 関係団体、医療機関等において、診療体制の整備や会議などを通じた情報共有、特定健診、各種がん検診への協力、市民・企業向けの出前講座・イベントの実施等、圏域内で一体となって取り組んでいます。
- ・ 市町においてもこれらの分野に係る多岐にわたる取組を実施しており、基盤となる役割を担っています。

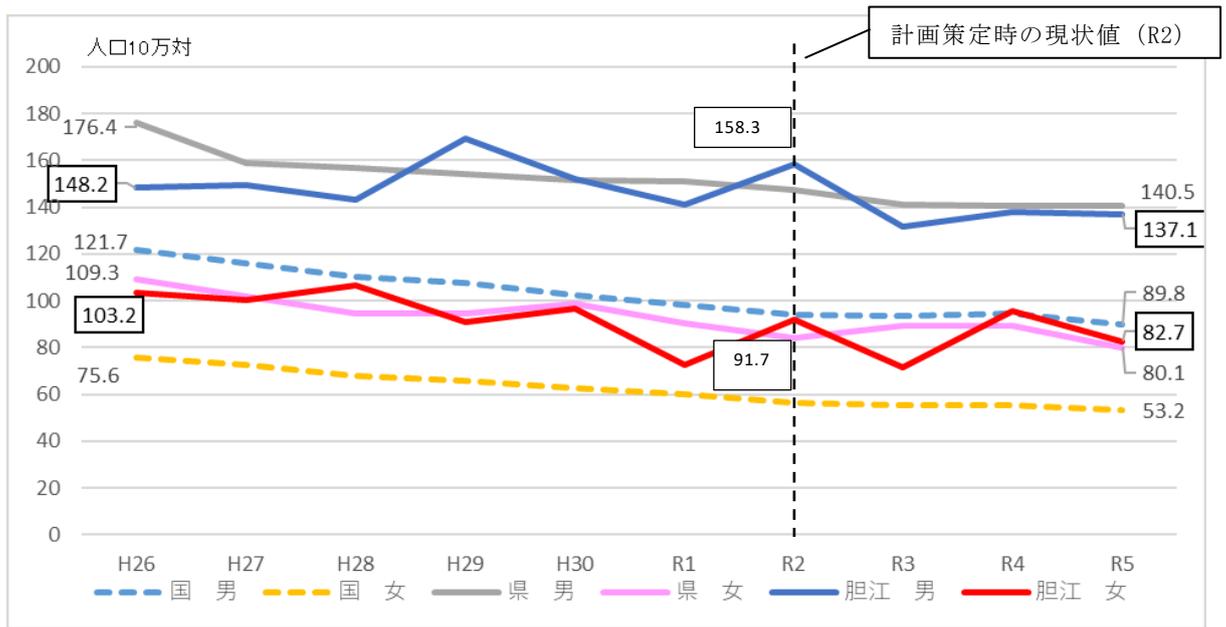
ウ 「食からのフレイル対策」について

- ・ 歯科医師会、看護協会、奥州病院、石川病院、美山病院、美希病院、金ヶ崎診療所、介護支援員専門員連絡協、行政機関において、情報提供、指導、講演、事業等を通じ取り組んでいます。

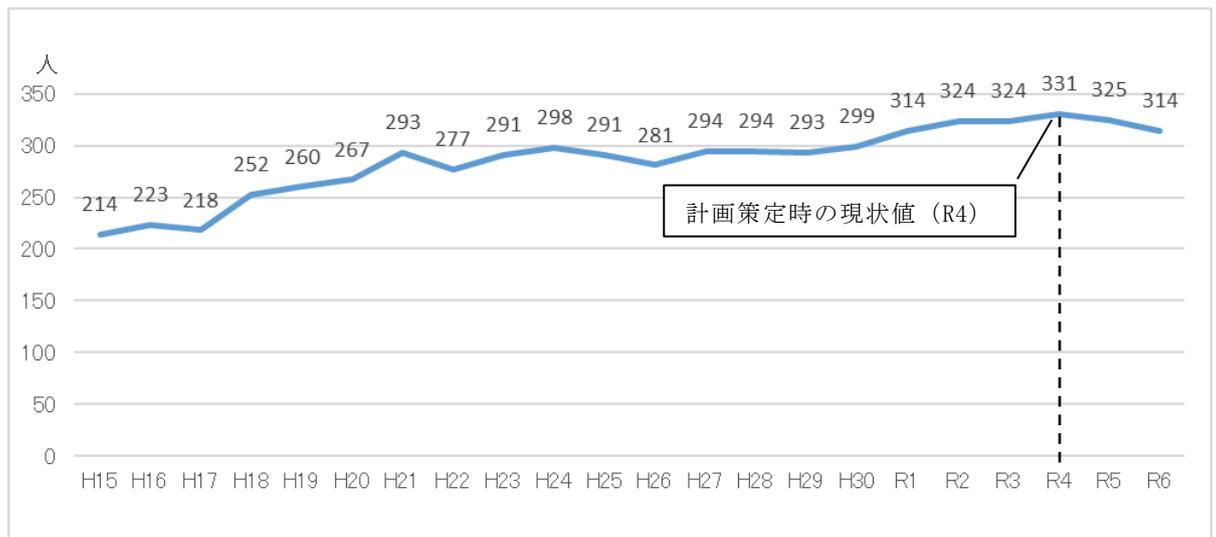
今後も継続して、これらの取組を進めていきます。

(参考データ)

図① 脳血管疾患の年齢調整死亡率（平成 27 年モデル人口）



図② 圏域内人工透析患者数



(2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）について

① 取組分野と取組状況（事業数）

大項目 (重点的取組)	小項目 (取組分野)	No	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	増減
(2) 少子高齢化社会への保健・医療・介護提供体制づくり（保健・医療・介護連携）					0
	周産期・小児医療、母子保健	11～15	45	46	1
	医療と介護の連携、在宅医療の推進	16～22	94	99	5
	認知症対策（理解の促進と医療や介護の支援の充実）	23～26	28	29	1
	小計		167	174	7

※各団体の取組状況は、資料1－2のとおり

② 総合評価（取組事業の概要）

ア 「周産期・小児医療・母子保健」について

- ・ 市町を中心とした妊産婦への各種給付事業、交通費・宿泊費助成、産後ケア事業、妊産婦メンタルヘルス事業やその他の妊産婦に係る幅広く総合的な支援を実施しています。
- ・ 市町において、乳幼児健診や高等学校、中学校での思春期保健講座に取り組んでいるほか、歯科医師会での妊産婦・乳幼児歯科健診への協力や美希病院での日曜日の小児科診療など、関係機関がこれらの分野に対し協力して取り組んでいます。

イ 「医療と介護の連携、在宅医療の推進」について

- ・ 奥州病院、江刺病院、総合水沢病院、まごころ病院、金ヶ崎診療所などでの訪問診療による在宅医療の実施、退院先への情報提供や、総合水沢病院、まごころ病院などでのレスパイト入院の実施、多職種連携による退院支援、各種会議での情報共有のほか、市町において各種支援事業に取り組んでいます。
- ・ 医療機関及び行政機関において、岩手医科大学、各種大学専門学校等の実習生の受入や講義を行い、医療従事者の人材育成に取り組んでいます。

ウ 「認知症対策（理解促進と医療や介護の支援の充実）」について

- ・ おとめがわ病院、石川病院、美山病院、美希病院、江刺病院、まごころ病院において、診療、セミナー開催、多職種連携チームによるケア等に取り組んでいます。
- ・ 市町において、認知症サポーター養成講座の実施、認知症ケアパスの配布・活用、認知症初期集中支援推進事業の実施、徘徊SOSネットワーク事業の実施、各種連絡会による情報共有等、多岐にわたり取り組んでいます。

今後も継続して、これらの取組を進めていきます。

(3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策について

① 取組分野と取組状況（事業数）

大項目 (重点的取組)	小項目 (取組分野)	No	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	増減
(3) 感染症対策と災害時等の健康危機管理対策					
	感染症対策	27~29	50	47	▲ 3
	高齢者施設等における感染症や災害発生時の 業務継続計画の策定状況の確認	30~31	8	9	1
	災害医療	32~36	31	34	3
	小計		89	90	1

※各団体の取組状況は、資料1-2のとおり

② 総合評価（取組事業の概要）

ア 「感染症対策」について

- ・ 医療機関と関係機関との連絡会議での情報共有及び訓練実施のほか、保健所での感染症サーベイランスの情報還元、高齢者施設を対象とした感染症予防研修会（高齢者施設等感染症対策向上加算（I）の算定要件に該当する研修）の開催等に取り組んでいます。
- ・ 医療機関において、嘱託施設との感染症の情報共有、実地指導、研修や院内感染対策研修、PPE着脱訓練の実施等に取り組んでいます。
- ・ 市町において、感染状況と基本的な感染対策についてのホームページでの周知や学校等への通知や指導による、児童生徒の学校教育活動の継続の確保に取り組んでいます。

イ 「高齢者施設等における感染症や災害発生時の業務継続計画の策定状況の確認」について

- ・ 市町において、高齢者施設への感染症対策に関する通知による注意喚起に取り組んでいます。
- ・ 保健所及び県南広域振興局において、高齢者施設への研修実施及び運営指導に取り組んでいます。

ウ 「災害医療」について

- ・ 保健所において、県立胆沢病院ほか関係医療機関、消防等と胆江地域災害医療訓練を実施し、緊急時の連絡体制の確認、各現場での初動対応、EMISの入力・共有、負傷者の救出活動、搬送調整及び水や燃料の支援調整を行う等、災害時の協力体制の確保に向けて取り組んでいます。
- ・ 医療機関において、透析患者等の受入体制やスタッフ派遣体制の確保、DMAT隊員災害訓練参加、災害時の備蓄品の確認、災害支援ナースの養成や活動への協力等に取り組んでいます。
- ・ 災害時の医療救護活動に関する自治体との協定締結については、薬剤師会と奥州市との協定が締結されたほか、今後、歯科医師会と管内自治体との協定締結が予定されている等、医療提供体制の整備が進んでいます。

今後も継続して、これらの取組を進めていきます。